

7月11日 金毘羅・Y懸 (1班)

藤村 敏幸

山名	金毘羅山・Y懸	山行名	夏山トレーニング 1班		
ルート	大原駐車場～江文神社～Y懸頭～江文神社～大原駐車場				
山行日	2021.7.11(日)	天候	曇りのち雨		
参加者	CL 藤村 SL 中田 若林 木田 秋山 玉置、西川、黒崎、藤本、田中、木元				
ルート概略図 江文神社 → Y懸頭 → 江文神社	コースタイム				
	地名	時:分	地名	時:分	
	江文神社	発 9:25	江文神社	着	15:00
<p>梅雨前線が西日本に停滞し、1週間まえから天気予報を見て心配していた。最初は曇りのち雨が段々と好転して、2日前には曇り後晴となり安心するが、前日に急に崩れまた曇りのち雨になる。いつものことながら当てにならない天気予報を気に留めてもしかたがないと思う。</p> <p>Y懸取り付きから、まだ雨に濡れ乾いていないガレ場道を、滑らないよう気を引き締めてゆっくりと登る。頭の岩壁の前には今年の台風で根元からなぎ倒された2本の杉の大木がそのまま横たわっていた。頭の岩の上で若林さん指導のもとハーネスに安全環付カラビナでATCビレイ懸垂下降装置を付けてロープを滑らし一人一人垂直壁を降りる。嬉しそうに記念写真に納まる人もいる。最初はロープが少し太く下降装置の所が熱を持ち摩擦熱で熱いとの申し出があり途中から少し細いロープに変える。細いとスムーズにロープが下降装置を通過して順調に降りることができた。下降中に足を岩に垂直に立てない人は途中で体が揺れ冷や冷やものである。中には心得があるのか怖がりもせず岩をけり空中ジャンプして大きく一気に下降した強者もいた。昼食後は、下降装置で一旦下まで降り、その後はブルージックで安全確保をして三点確保で岩壁を登る訓練をする。大丈夫かと思っていたが、皆さん最初は、どの岩を持ち、どの箇所足に掛けるのか迷っていたが、すぐに慣れ小さい岩角に足を掛け踏ん張り滑ることもなく頂上まで登り通した。楽しいのか2回ほど岩壁を登る人もいた。2時30分に取り付きに集合なので、皆に声掛けをすると、沢筋ではなく、尾根筋の岩道を降りたいとの要望が多く、予定通りではない行動をして大丈夫なのかと自問するが、確か去年も同じように尾根筋から降りたので大丈夫だろうと思い皆に従う。先頭で降りる中田さんが足場を確保できず苦労される箇所が何か所もあり、危ないと思う箇所はロープを張り安全確保しながら降りる。段々空模様が怪しくなり、取り付き近くまで降りたところでポツポツと雨が降りだし、大急ぎで江文神社まで戻る。2班の方が今や遅しとお待ちになり、雷さまも音を立てておられ、全員一斉に我先にと駐車場に歩き始める。段々と雨足が強くなるが、カップを着るほどの距離ではなく、どうしようかと迷っているうちにずぶ濡れになり駐車場に着く。1班が予定外の行動をしたことにより、2班の方に迷惑を掛けることになり申し訳ありませんでした。やはり予定以外のことをすると災難になるという教訓通り、今回も散々な目にあいました。夏山のよい教訓となり練習登山の意義がありました。 ヒヤリハット なし</p>					

7月11日 金毘羅・Y懸（2班）

平尾 繁和

山名	金毘羅・Y懸		山行名	夏山トレーニング 2班		
ルート	大原駐車場～江文神社～Y懸尾根取付き～江文神社～大原駐車場					
山行日	2021年7月11日（日）		天候	曇り		
参加者	CL：平尾 SL：山下隆 女性：徳田、玉井、伊藤多、和田、牧之瀬、吉田、川上、小林、幾田、高橋、蒲田 男性：永井 合計14名					
ルート概略図 省略	コースタイム					
	地名		時：分	地名		
	京田辺			Y懸尾根取付	着	9：35
		発	6：30		発	14：30
	大原駐車場	着	8：50	江文神社	着	14：40
		発	8：55		発	15：00
	江文神社	着	9：05	大原駐車場	着	15：15
発		9：25	発		15：25	
<p>週初めから予報がころころ変わり天候が心配されたが、前日昼の判断で実施を決定。2班は、夏山の八ヶ岳難縦走（7名）と易縦走（4名）参加者にY懸初体験者3名を加えて14名のメンバー。車6台を寂光院口駐車場へとめに行き、先に降りてもらい江文神社でトイレとハーネス等装着して待ってもらい。2班は当初Y懸沢のガレ場を往復してから取り付きで岩登りトレの予定だったが、昼前後から雨が予想されたので講師と相談し先に岩登りトレを実施。プルーシックで事故があったため、今回はトップロープでのトレーニング。ガスヒッチに安環で上に支点をとり、ロープ（9.5mm、50m）の真中をかける。（真中は緑のマーク）ロープのしまい方が悪く、設置に手間どる。座学で予定していたロープのしまい方をみんながマスターしておくことの必要性を実感した。入会歴の古い人から順に3点確保（支持）で登っていく。登る前に必ずロープの結びと安環の閉まり、ハーネスの折り返しを確認する。12時を回った時点で9人が終了、30分の昼休みをとる。午後は入会歴2年未満の5人がY懸に初挑戦。「私途中まででいい」「あんなとこいけるの？」等、口々にいわれていたが、下から「足を縦に置き親指に重心を懸ける」、「大腿にならず小股にホールドを目で探す」などみんなの下から声をかけ、いざロープを結ぶとみんな最後までやりとげ、戻ってくるたびに拍手で迎えられ、緊張のなかにも和気あいあいの雰囲気。確保器（ATC）を使用した、ムンターヒッチで代用できるので、座学のおさらいでムンターヒッチをみなでやる。また、ロープの端はダブルフィギュアエイトで結びフィッシュマンズノットで末端処理をする。午後の最初の人には結ぶところからやってもらい。ダブルフィギュアエイトは組み紐のようにきれいな結び目になることが大事。私は講師を手本に20数年ぶりにビレイをやらせてもらった。登りはさっさと引くことが必要で力がある。確保器から先のスムーズな手の裁きを身につけたい。一通り上まで登ると、終了予定の14時30分まで40分ほどになったので、Y懸沢はやめ、ザックを背負っての岩登りを続けた。途中の木までとし、できる人はノーロープで訓練した。空が暗くなりかけたので、1班と連絡をとり先に江文神社までおり待った。駐車場に戻る道中は雷雨にあったが、トレーニング中は雨にも合わず幸いした。講師の佐坂さんにはたくさん指導をいただきありがとうございました。安全な岩トレーニングができるよう、ビレイを身につけたい人が増えるといいと思いました。</p>						
ヒヤリハット なし						

感想文

黒崎 高生

そろそろ梅雨明け間近でしょうか？前日まで数時間毎変化する天気予報を何度も確認。当日は曇り予報でしたがいい天気にも恵まれました。初めてのY懸に参加させていただきました。山には山のルールがあり、自信過剰にならないようと指導をしていただきました。また緊張感を持って慎重にする事も大事なので今後の山行に役立てればと思います。CL, SL、指導していただいた班長、参加の皆様ありがとうございました。（Y懸後、通勤時に電車の中で懸垂下降のYouTubeを見るようになり、エイト環をネットで購入してしまいました。）

幾田 邦江

初めてのY懸で、とても緊張しました。脇で岩登りの練習をさせて貰ったのですが、三点確保ができず危険だと助言していただきました。本番は、心の中で「三点支持、三点支持」と唱えながらゆっくり登りゆっくり降りると、意外に怖くありませんでした。むしろもっと登ってみたいと思いました。事前にYouTubeや、頂いた資料などでロープワークを練習していったのですが、肝心のエイトノットが本番ですぐにできませんでした。次回の実技までには、熟練しておきたいと思います。



運転手の面々



Y懸の取り付けへ



2班 下の取り付けでの岩登りトレ



トップロープのビレイ



佐坂顧問



ビレイヤーの自己ビレイ
(写真提供 藤本、伊藤多、平尾)